

山口川洪水調節池

概要

愛知縣土木部長

山口 十一郎

溜能力至つて乏しく、従つて出水急なりし地域なるため、洪水時には相當の調節機能を發揮し得るものなり。而して本工事は本縣内最初の河水統制事業なり。

本工事は昭和8年度時局匡救事業として起興したるものにして、山口川調節池は一方に瀬戸市水道の補助水源として灌漑用水に支障なき餘水を利用し、他方下流灌漑用水に利用するを得て利水統制に成功したり。

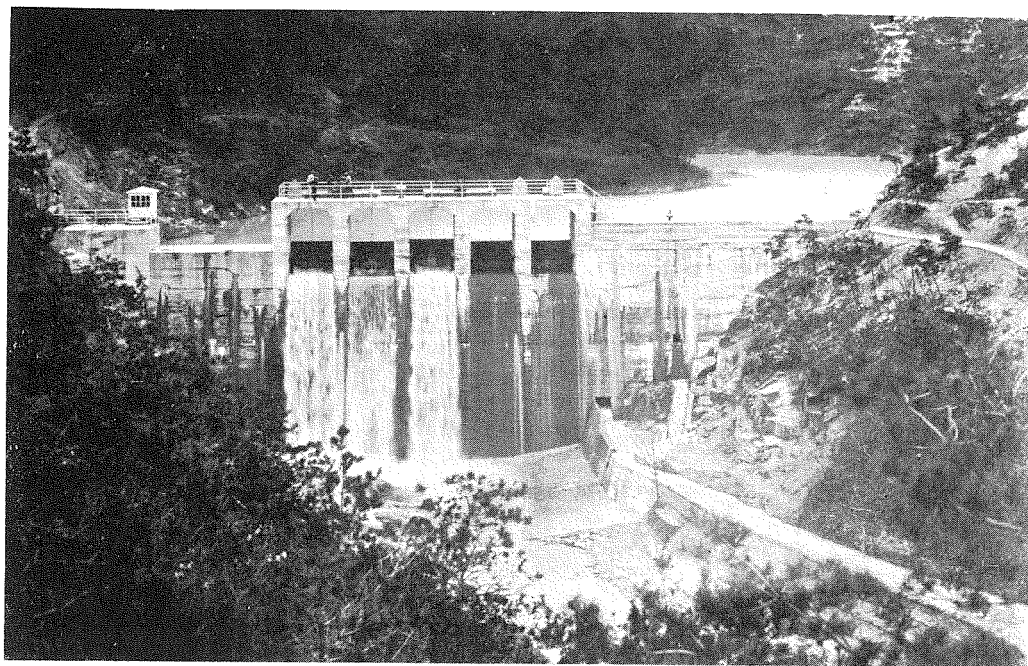
洪水調節能力としては未だ満足すべき程度に非ずと雖も、本調節池流域は瀬戸窯業のため山地は亂伐せられて地肌を表し、降水の貯

り。

工事概要

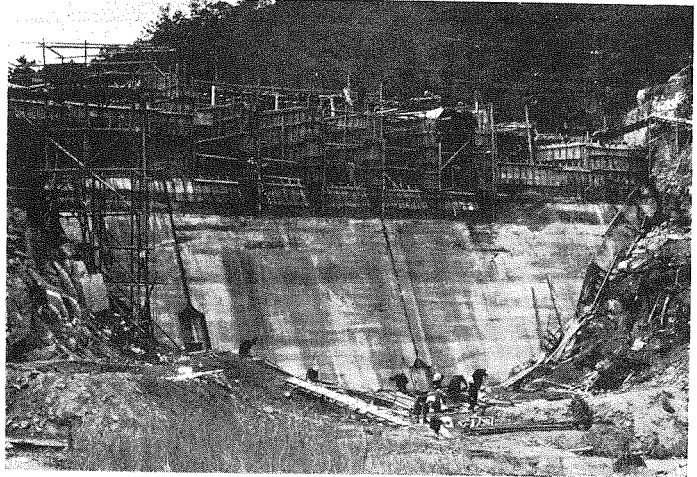
水系 庄内川支川矢田川小支山口川
位置 愛知縣愛知郡幡山村大字山口
堰堤の構造 コンクリート及玉石コンクリート使用、重力式、溢流部高2.0米の可動扉5門を有す。
堰堤の最高最長 高さ岩磐上17.1米、天端長

(1) 山口川洪水調節池堰堤下流右岸山頂より正面を望む。



56.0米。
 集水面積 17.28平方キロ米
 調整池容量 最大容量 178,000立方米

調節容量115,000立方米
 湛水面積 最高水位の場合53,000平方米。
 関係灌漑反別 586町歩
 工 費 60,490圓
 内譯 材料費25,183圓
 勞力費25,183圓
 用地費其他 1,969圓



(2) 工事施行中の堰堤を上流背面より見たる状況。

着手及竣功 着手昭和8年12月
 竣功昭和9年3月
 起業者 幡山村長
 設計並工事施工監督者 愛知縣

(3) 山口川洪水調節池 上流左岸山頂より堰堤の背面を望む。

